

- 問1 北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットゥシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. アイヌ民族

2. 大和民族

3. 渡来人

4. 琉球民族
- 問2 縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）

1. 高床倉庫

2. 貝塚

3. 環濠集落

4. 古墳
- 問3 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため

2. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため

3. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため

4. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため
- 問4 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた

2. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた

3. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた

4. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた
- 問5 石器時代の道具や生活の変化について述べた文として、縄文時代の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）

1. 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石をみがいた磨製石器や土器が使われ始めた。

2. 本格的な水田稲作が広まったことで、石包丁を用いた穂首刈りが一般的になった。

3. マンモスなどの大型の獣を追うため、移動生活に適した打製石器のみを使い続けた。

4. 青銅器や鉄器が大陸から伝わり、石器は次第に祭祀用の道具へと変化していった。
- 問6 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 三内丸山遺跡

2. 登呂遺跡

3. 吉野ヶ里遺跡

4. 岩宿遺跡
- 問7 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。

2. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。

3. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。

4. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。
- 問8 縄文時代の遺跡から多く発見される、当時の人々が定住生活を始めたことを示す遺構について、地面を掘りくぼめた床に柱を立て、屋根をかけた住居を何と呼ぶか答えなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 竪穴住居

2. 書院造

3. 高床倉庫

4. 寝殿造
- 問9 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため

2. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため

3. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため

4. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため
- 問10 佐賀県の東名遺跡（ひがしみよういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。

2. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。

3. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。

4. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。
- 問11 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものが多くあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。（2023年 香川県公立入試 類似）

1. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまったことを前提とした観賞用。

2. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。

3. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。

4. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。
- 問12 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 渡来人

2. 蝦夷（えみし）

3. アイヌ民族

4. 琉球民族
- 問13 縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。

2. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。

3. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。

4. 食物の豊穡や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。